

## なす新品種「熊本長ナス1号」の特性

農業研究センター 農産園芸研究所 野菜部  
担当者：彌富道男

### 研究のねらい

「赤なす」の名称で親しまれている在来の「熊本長なす」は、果皮色が赤紫色で、肉質は軟らかく、果汁も豊富で食味が優れており根強い人気がある。

しかし、生産農家ごとに自家採種されてきたため、果形や果皮色がばらつき、品質が不均一であることが問題となっている。

このため、在来種の良食味を維持しながら果実形質が均一な品種を育成し、「熊本長なす」の安定生産を図る。

### 研究の成果

#### < 来歴 >

県内在来系統及び農研センター保存系統から、外観品質の安定した固定系統を選抜して交雑品種「熊本長ナス1号」を得た。

- 1 在来の「熊本長なす」と同程度に草勢は強いが、やや生育が早く摘心時期も早い。
- 2 果形の揃いは在来種よりも良く、果径は太く重量感があり果皮色も同様の赤紫色である。また、果皮の硬さは在来種と同程度で、「筑陽」に比べ柔らかい。
- 3 肉質は軟らかく、アクが少なく食味が良い。

### 普及上の留意点

- 1 県内の「熊本長なす」の栽培地域において普及が期待できる。適応作型は、中山間地では早熟栽培、露地栽培で6月～11月、平坦地では半促成栽培で1月～6月までの収穫が可能である。
- 2 土壌病害抵抗性は、従来品種と同程度であるため、接ぎ木栽培を行う

表 1 生育特性

品種/系統	草丈 (cm)	摘心時期 (月/日)	生育の 早晚	節間 長	花数
熊本長ナス1号	63.8	7/ 8	早	短	中
熊本長ナス(対照)	59.3	7/25	遅	短	少

注) 播種日:平成12年1月31日、調査日:5月9日  
着花数は開花したものから蕾のものまでを含む。

表 2 果実品質特性

品種/系統	果重 (g)	果長 (cm)	果径 (cm)		縦/横 比	果皮 色	果皮 硬度	果肉 硬度
			最大	最小				
熊本長ナス1号	315	25.5	7.1	4.9	3.6	3.5	2.0	0.6
熊本長ナス(対照)	313	25.7	7.1	5.0	3.6	2.7	2.1	0.8
筑陽(参考)	186	23.0	5.4	3.5	4.3	5.0	2.3	0.5

注) 調査時期:6月20日  
縦/横比 = 果長/最大果径、果皮色:0淡紫~5濃紫、硬度:kg/cm<sup>2</sup>



写真1 「熊本長ナス1号」の果実